

平成29年9月13日

山形大学の大学改革(平成29～31年度)
～自立分散調和型の一步先を行く大学経営～

山形大学長 小山清人

【経営】

●**枠組みと信頼関係の構築**

(1)キャンパスの自立化

- ①キャンパス経営の枠組み整備 ②意思決定権限の明確化
- ③人事・労務・財務の業務見直し

(2)学術研究院の定着

- ①研究組織の制度整備 ②教員評価システムの再構築
- ③教員ポイントの全学管理

(3)次代を担う教職員の育成

- ①「変化を主体的に」の醸成 ②労働生産性向上の習慣化
- ③楽しい職場作りの企画と実施

(4)山形大学の学風づくり

- ①地域創生・次世代形成・多文化共生
- ②知徳体の醸成 ③学問を文化に、科学を文化に

●**財務体質の強化**

(1)収入源の多様化と増収

- ①収入の重要性認識の共有化 ②収入源の多様化の導入
- ③大型プロジェクトの推進

(2)施設整備の老朽化対策

- ①施設整備の中長期計画の策定
- ②施設整備の自立化方策(財源や手法)の構築 ③未活用施設の整理

(3)目的積立金を作れる体質

- ①中長期を意識した経営の実行 ②予算管理重視から決算管理重視へ
- ③適時適切な経営判断の仕組み構築

【教 学】

●教育方針と仕組み

(1)人間力と国際感覚の醸成

- ①将来にわたってたくましく生き抜く力を育む環境づくり
- ②導入・基幹・キャリア科目の深化 ③学生大使派遣と関連授業の充実

(2)教育の質保証とPDCA

- ①20年後の人材像を意識したカリキュラムづくり
- ②カリキュラム認定基準の策定 ③カリキュラムのスリム化

(3)教育改革の着実な実施

- ①大学院の基盤教育の構築 ②教育の質の向上を目指した改革
- ③2020年大学入試改革の活用

●研究環境の整備

(1)基礎研究の支援

- ①山形大学の基礎研究の特徴づくり
- ②博士学生を含む若手研究者の支援
- ③共同研究を実施する環境の整備

(2)研究拠点の更なる充実

- ①研究拠点の更なる重点化 ②新たな先端的研究拠点の発掘
- ③拠点支援機能の充実

(3)研究成果の発信と普及

- ①研究成果の世界への発信 ②研究成果の地域普及
- ③重要研究論文の選定と発信支援